

減災 NEWS

近畿大学奈良病院DMAT災害対策委員会

文責：橋本真季・金城優佳・辻谷太

Vol. 12 2023. 12. 26

みなさんこんにちは。近大奈良DMAT隊員4名（医師1名、看護師2名、ロジ1名）が令和5年10月22日に開催された「奈良県防災総合訓練」に参加しました。

奈良県防災総合訓練とは？

今回の奈良県防災総合訓練は、大型台風による風水害を想定し、被災地訓練、避難所訓練及びヘリ救助訓練を同時進行で実施しました。この訓練は、DMATだけではなく、消防・自衛隊・警察・医師会、看護協会、日本赤十字社など多数の団体が参加しており、災害時の連携強化のために毎年行われています。

倒壊家屋から警察・消防・自衛隊が連携し、被災者を救出しています！



災害現場では、クロノロが大事！

今回、DMATはトリアージエリアで訓練を行いました。トリアージエリアとは、災害現場の近くに設営される救護所のような役割を担うところです。ここでは、被災者を赤・黄・緑に別けて、治療の優先順位を決定し、一時的に被災者の処置を行います。近大奈良DMATは、指揮所というエリアを統括する役割を担いました。指揮所では、情報が錯綜するため、クロノロ（クロノロジー）が重要と言われています。

クロノロとは、情報を管理するための経時活動記録です。起こった出来事、収集・発信した情報について「誰が発信し」「誰が受け」「どのような内容であったか」を時系列に記録します。クロノロを作成することで、どんなことが起き、どんな方針で活動しているかを全員で共有することができ、情報の断絶や誤認、本部の混乱を防ぐことができます。

今回の訓練メンバーです♪



クロノロ記載中



赤テント

黄テント

緑テント



今後も発災時に迅速かつ確に行動できるよう技能の維持・向上に努めます!! DMATや災害対応に興味があれば、ぜひ、DMAT隊員までご一報ください!!

ご意見やご感想、ご質問等ございましたら、【患者さまの声】にお願いします。
(患者さまの声は、2階正面玄関前カウンター、再診受付機脇、各デイルームに設置しています。)